推進管抜出し長一覧表

呼び径 250～700（JSWAS　A－6）

管の名称	E形管			Wジョイント管			Wジョイント管			NS小口推進管		
管の略号	E			EW			ENW			NS		
登録番号	SJS1			SJA1			SJB1			SJB2		
継手性能	SJS			SJA			SJB			SJB		
耐水圧（Mpa）	0.1			0.2			0.2			0.2		
呼び径（㎜）	抜出し長（㎜）			抜出し長（㎜）			抜出し長（㎜）			抜出し長（㎜）		
	常時	許容（レベル1）	最大（レベル2）	常時	許容（レベル1）	最大（レベル2）	常時	許容（レベル1）	最大（レベル2）	常時	許容（レベル1）	最大（レベル2）
250	10	14.5	29	10	40	52	20	50	67	20	50	80.5
300	10	14.5	29	10	40	52	20	50	67	20	50	80.5
350	10	14.5	29	10	47	52	20	57	77	20	57	80.5
400	10	14.5	29	10	47	52	20	57	77	20	57	80.5
450	10	14.5	29	10	47	52	20	57	77	20	57	80.5
500	10	14.5	29	10	47	52	20	57	77	20	57	80.5
600	10	27.0	54	10	47	60	20	57	80	20	57	85.5
700	10	27.0	54	10	47	60	20	57	80	20	57	85.5

呼び径 800～3000（JSWAS　A－2）

管の名称	E形管			Wジョイント管			NS推進管			Wジョイント管		
管の略号	E			EW			NS			ENW		
登録番号	JA1			JB1			JC1			JC2		
継手性能	JA			JB			JC			JC		
耐水圧（Mpa）	0.1			0.2			0.2			0.2		
呼び径（㎜）	抜出し長（㎜）			抜出し長（㎜）			抜出し長（㎜）			抜出し長（㎜）		
	常時	許容（レベル1）	最大（レベル2）	常時	許容（レベル1）	最大（レベル2）	常時	許容（レベル1）	最大（レベル2）	常時	許容（レベル1）	最大（レベル2）
800	30	67	71.5	40	77	87.0	60	97	135.5	60	97	122
900	30	67	71.5	40	77	87.0	60	97	135.5	60	97	122
1000	30	67	71.5	40	77	87.0	60	97	135.5	60	97	122
1100	30	67	71.5	40	77	87.0	60	97	135.5	60	97	122
1200	30	67	71.5	40	77	87.0	60	97	135.5	60	97	122
1350	30	67	72.0	40	77	85.0	60	97	135.5	60	97	120
1500	30	67	72.0	40	77	85.0	60	97	135.5	60	97	120
1650	30	67	72.0	40	77	85.0	60	97	135.5	60	97	120
1800	30	67	72.0	40	77	85.0	60	97	135.5	60	97	120
2000	30	67	72.0	40	77	85.0	60	97	135.5	60	97	120
2200	30	67	72.0	40	77	85.0	60	97	135.5	60	97	120
2400	30	67	84.0	40	77	83.0	60	97	136.0	60	97	123
2600	30	67	84.0	40	77	83.0	60	97	136.0	60	97	123
2800	30	67	84.0	40	77	83.0	60	97	136.0	60	97	123
3000	30	67	84.0	40	77	83.0	60	97	136.0	60	97	123

注：1．常時とは、主に曲線推進の検討に用いる目地の開口長で、管の配置図で計算された目地の開口長が、上表の値を超えないようにする。
この値は、社団法人日本下水道協会規格『JSWAS A-2』『JSWAS A-6』に規定される継手性能の抜出し長で、水平水密試験の試験抜出し長である。

2．許容とは、主に耐震検討に用いる目地の開口長で、曲線推進における目地の開きとレベル１の地震動による抜出しが、上表の値を超えないようにする。
E形管 (SJS) を除くこの値は、社団法人日本下水道協会規格『JSWAS A-2』『JSWAS A-6』の付属書に規定される継手型式試験規定の複合水密試験の試験抜出し長である。E形管 (SJS) の値は、最大（レベル２）の 1/2 の値である。

3．最大とは、主に耐震検討に用いる目地の開口長で、止水ゴム輪が抜出さない最大長さをいい、レベル２の地震鋤による抜出しが、上表の値を超えないようにする。
この値は、社団法人日本下水道協会発行『下水道施設耐震計算例（管路施設編）』に規定されている最大抜出し長である。